

メディア表現III

13.マスク・キーイング・ロトスコープ

目次

1. 最終課題について
2. 今日のトピック
 - i. マスク
 - ii. キーイング
 - iii. ロトスコープ

初めに

前回のおさらい

2回利用して

- カラーコレクション
- カラーグレーディング

と色・質感についてやってきました。作品制作に活かしていきましょう。

最終課題について

- 最終課題について

最終課題の締切日は7月末とします。

今日のトピック

マスク・キーイング・ロトスコープ

マスク・キーイング・ロトスコープ

今日は、映像合成のために、どのように切り抜くかということについて説明していきます。
演習方式でする時間がないので、説明中心となります。

マスク > キーイング > ロトスコープ

と進むにつれ、技術の進化を感じぜざるを得ませんが、使えるツールはどんどん使っていきましょう。

最終的には、どの技術を利用するか、の判断が必要となります。

マスク

マスク

マスクは、エフェクトや設定の見える範囲を決めるものです。
マスクを作ることを「マスクを切る」とも言います。

円・長方形・ペンツールを利用して設定します。

- [使えなきゃヤバい！マスクの基礎と使い方3選！！ 1:10-16:30](#)

参考

- [マスクについて -作成・編集・用途- 【AfterEffects/チュートリアル】](#)

ベジェ曲線のコツ

パスの使い方慣れていない人は、

- ペンツールで描くベジェ曲線をマスターする

でおさらいをしておきましょう。

コツとしては以下の2点に注意しましょう。

- 接線を意識する
- 不必要にポイントを増やさない

Premiere/AfterEffectsでのマスク

Premiere

- 映像を隠す場合には不透明度のマスクを使います。
- エフェクトのかかる範囲を指定する場合には、エフェクトを追加して、エフェクトのマスクを使います。
- マスクは複数設定することもできます。

AfterEffects

- レイヤーを選択した状態で、長方形ツールやペンツールなどでパスを制作することでマスクを使えます。
- マスクは複数設定することもできます。
- 複数設定できると、マスクの範囲の演算も使うことが可能です。

マスクのキーフレーム

マスクにキーフレームを使うことができます。

つまり、動かすこともできるということですね。

ただし、マスクするものが動いていると、1フレームずつ設定していかないとダメですね。

これ、大変な作業となります。フレーム数が多い場合にはロトスコープを試みましょう。(後述)

マスクトランジション

マスクの動きをうまく使うことでこんなこともできます。

プレミアプロでできるマスクトランジションの編集方法

キーイング

キーイングとは？

映像編集技術の一つで、色・明暗などの成分から画像や映像の一部を抜き出すことです。クロマキーとも言われます。

ブルーバックとグリーンバック

キーイングには青・緑の背景を使って撮影することが多く、それぞれブルーバック・グリーンバック(ブルースクリーン・グリーンスクリーン)と呼ばれます。

ブルーバック

- アジア人の肌色に合う
- 十分な光量が必要

グリーンバック

- 弱い光の環境でも撮影可能
- シワや折り目がつきやすい

グリーンバックとブルーバックの違い

グリーンバックとブルーバック:どちらが良いですか

撮影の仕方

均等な緑をいかに作るかが非常に重要なポイントです。

- シワを伸ばす
- 照明を均等に当てる

この二つに気をつけましょう。

また

- 被写界深度を被写体全体にピントがくるように設定

しましょう。境界がボケていると綺麗に抜くことができなくなります。

編集時に後悔することになります。

- 意外と簡単にできるグリーンバック撮影3つのポイント

撮影のコツ

なんでも簡単にできそうですが、いろいろ考えないとうまく抜けません。
ヒントになりそうな動画貼っておきます。

参考

- [グリーンバック合成撮影の基本！安易に手を出すとケガをする？！クロマキーで失敗しないための動画講座！](#)
- [グリーンバックで大切なのは人物ライティング【クロマキー合成】](#)

編集方法

Premiere

- Ultraキーが今は一般的
- キーカラーを設定
- 出力をアルファチャンネルにして綺麗に抜けているか確認
- マットの生成・クリーンアップのパラメーターで調整
- スピルサプレッションは映り込んだ緑色を抑えることができる

AfterEffects

- KeyLightを使用
- Screen Colorを設定
- ViewをStatusにして抜け方を確認
- パラメータはUltraキーより多いのでいろいろ調整が必要

グリーンバック 綺麗に抜くには

スピルとは、撮影対象に緑の影がかかってしまうことを指します。これは、撮影時の光量が多すぎるために起こる現象です。

PremiereではUltraキーに入っていますが、
AfterEffectsでは

- Key Cleaner(ブロックノイズなどに有効)
- Advanced Spill Suppressor(スピルの除去)

と併用すると良いでしょう。

マスクとキーイングの併用

キーイングする場合には、被写体の周りだけ綺麗に切り抜ければよく、それ以外はマスクも併用することをお勧めします。

練習ファイル

授業中にはやらないですが、ここから試してみることができます。

- [グリーンバックの映像素材の問題点をすばやく修正](#)

参考

【Premiere Pro】 動画背景を透明にする Ultraキーの使い方 【初心者向け】
グリーンバック合成基本テクニック（標準エフェクトのみ）【After Effects チュートリアル】

ロトスコープ

ロトスコープとは？

1.アニメーションの技法

実写映像をベースにしてアニメーション映像を作り上げる技法。

実写の動きをトレースすることでリアルなアニメーションを制作することができますが、膨大な時間がかかります。

代表的なアニメーション

- 【公式】 悪の華 第一回 【特別公開】
- 花とアリス殺人事件

2.動画編集の技法

動画からエレメントを切り取り、実写映像に追加します。

AfterEffectsを利用すれば、グリーンバックを利用しなくても、合成することができます。

デジタルロトスコープでのビデオエレメントの融合

- 背景からオブジェクトを分離
- 不要なオブジェクトを置き換える

AfterEffectsではロトブラシというツールを利用してロトスコープを行います。

パスで設定をしなくても、「この辺」と指示するだけで綺麗に抜いてくれます。

AfterEffectsでのロトスコープの使い方

- ロトブラシツールで動画の一部を切り抜く方法
- ロトブラシツールで動くマスクを作成する方法
- コンテンツに応じた塗りつぶしを使って不要な要素を取り除く方法

とりあえず、どのようなことができるかを知っておきましょう。

最後のが、「撮影時にいない人が写り込んでる」などの時に利用できると思います。

時間があれば、やってみたいのにトライしてみましょう。

ロトブラシ3.0

次世代ロトブラシは、まったく新しい AI モデルを搭載した最新かつ改良版のロトブラシツールです。ロトブラシ 2 と比較して、時間と空間にわたってフッテージ内のオブジェクトを選択および追跡する際の精度が向上します。これにより、重なり合う手足、髪、透明部分などの複雑なオブジェクトを素早く簡単にマスクできます。

2024.5アップデートでワークフローが大幅に機能強化されました。

- [ロトブラシとマットを調整機能](#)
- [【After Effects】最新ロトブラシ3はすごい！機能検証！これ使う人は必見！ 5:52-](#)

まとめ

さまざまなツールを駆使して、映像の合成を使いこなせるようになりましょう。

デジタルツールが進化したと言っても「映像をうまく合成できるか」にはやはり経験がいります。

合成する映像が光の方向が異なったりすると、なかなか馴染んではくれません。

合成する場合には、撮影からいろいろたくらむ必要があります。

ぜひ挑戦してみてください。